

## 建設業の未来を拓くBPO戦略シンポジウム 開催要旨

### ●開催概要

日時	2026年2月3日（火曜日）13時00分～17時00分
会場	いわて県民情報交流センター キオクシアアイーナ 会議室803

基調講演

講演タイトル	人手不足時代の企業成長にはBPOが必要不可欠！？
講演者	株式会社船井総合研究所 金融機関アライアンス室 マネージング・ディレクター 宮本賢一氏

講演要旨：

1. 外部環境の変化と「価値」の再定義

- ・ **生き残り戦略**：「人間にしかできない価値」にフォーカスする必要がある。米国（ロサンゼルス等）で実用化された自動運転タクシーの例であれば、人間は「観光や人との出会い」に特化するように、建設業においても自社の強みを再定義しなければならない。
- ・ **人手不足とコンサルティングの変化**：建設業には数百社コンサルティングを行ってきた。昔は当社のツールを入れれば業績が向上したが、現在は人手不足によりそう簡単にいかず、コンサルティングの在り方も変わっている。

2. 経営判断としての「投資」と「コスト」の分離

- ・ **バックキャスト思考**：2年後、3年後、5年後の「あるべき姿」から逆算し、リソース（人・金）をどこに集中させるかを決定するのが経営者の役割である。
- ・ **人件費の捉え方**：定型業務を自社で行い続けるのは無料ではなく、目に見えない多大な「人件費（コスト）」を垂れ流している状態である。これをBPOに切り替えることは、未来への「投資」である。今いる人材に何をやらせるのか？コストだけの比較ではBPO導入の判断はできない。

3. 企業の成長と「BPO・DX」による解決

- ・ **企業の成長段階**：2億・10億・30億・100億・300億といった各フェーズで「経営の再構築（アップデート）」が必要。
- ・ **「BPO・DX」による解決**：事務担当者が1から10までレベルアップするのを待つのではなく、BPOを活用して「プロの仕組み」を即座に導入し、社員はコア業務へシフトさせるべきである。

4. 成長のための「10年ロードマップ」

- ・ **生産性の最大化**：「売上 = 従業員数 × 1人当たり生産性」。人が増やせない現状では、1人当たりの生産性を高めることが最善である。
- ・ **リソースの最適配分**：成長が止まる企業の多くは、経営資源（リソース）が分散している。ロードマップを描き、フェーズ1「収益化」、フェーズ2「投資」、フェーズ3「急成長」の順序で戦略的にBPO・デジタルを組み込むことが重要である。

5. BPO導入のメリットと組織の転換

- ・ **「派遣/外注」との違い**：BPOは「プロセスの責任」を持つことが派遣や外注との違い。委託先が自発的に改善を提案する体制を築く。
- ・ **リスク低減**：担当者の退職による業務停止（属人化）リスクを解消し、組織として永続性を担保できる。
- ・ **マインドセット**：「時流適応」こそが経営の原理原則。変化を恐れず実践することがすべてである。



## BPO導入企業による事例紹介

講演タイトル	大規模現場におけるBPOを活用したリソース確保
講演者	鹿島建設株式会社 関西支店 建築部 建築工事管理グループ課長 磯川郁弥氏

講演要旨：

### 1. 大規模工事の現状とBPO化の背景

- ・ **働き方改革の波:** 残業時間規制(100時間/月→45時間/月)への対応が必要不可欠となり、社員が「コア業務(施工管理・品質判断)」に注力できる環境作りが急務。
- ・ **BPO化の背景:** ピーク時には元請職員約300名、技能者が1日4,000名稼働。協力会社5,000社、総入場者数5万人を超える大規模プロジェクトにおいて、少数の事務系社員が、宿舍運営から安全書類のチェックまで、膨大なノンコア業務を人海戦術で対応することになり、リソース不足が顕著であるため、上司と相談の上、BPOの導入を行った。

### 2. BPOした「ノンコア業務」

- ・ **技能者用宿舍の運営管理:** 管理人、清掃、宿泊受付、食堂売店、送迎バス、建物の法定点検まで一括委託。窓口をBPO事業者へ一本化することで、指示や管理の手間を大幅に削減。
- ・ **入退場管理と安全書類の確認:** 5万人規模の入退場手続き、工事請負契約書や建設業許可証の確認、保険加入状況のチェックなどを外部のプロ(BPO事業者)に委託。
- ・ **元請職員用アパートの手配・運営:** 物件収集から賃貸借契約、鍵管理、インフラ契約、備品手配を役割に応じて複数社に分担。事業者の強みに応じた役割分担により、リスク低減と効率化を両立。
- ・ **ドローン・定点撮影:** 撮影業務を専門業者へ外注することで、現場職員が残業せず、コア業務に専念できる体制を構築。

### 3. DXツール×派遣人材の相乗効果

- ・ **スマートアシスタント(SA)の導入:** 検査写真の撮影や整理、基幹システムへのアップロードなど、ITリテラシーの高い派遣スタッフを「SA」として起用。ICTツールの先導役として活用することで、社員の事務負担を大幅に軽減。
- ・ **顔認証システムとQRコード:** 入退場管理を顔認証で行い、出面の集計を自動化。来客用QRコードも活用し、セキュリティ向上と受付業務の効率化を推進。

### 4. 成功のためのポイント

- ・ **委託者側の意思の明確化:** 「自分たちが何をしてほしいのか」「どう業務を変えたいのか」という目的を明確に持たなければ、BPOは機能しない。曖昧な指示では受託者側も動けないため、戦略的な切り分けが必要。
- ・ **時間を買う投資:** BPOをコストではなく、社員がより付加価値の高い「創造的な仕事」に向き合うための「投資」と捉えるマインドセットが重要。



## BPO導入企業による事例紹介

講演タイトル	BPOサービス提供をフックに働き方改革
講演者	株式会社小田島組 代表取締役 小田島直樹氏

講演内要旨：

### 1. 会社概要

- ・ **若い組織構成**：社員150名のうち半数が10～20代、さらにその半数が女性。地方の建設会社としては異例の構成。

### 2. 直面する「二重の課題」

- ・ **課題①**：優秀な女性社員が結婚・出産などのライフイベント（産休・育児）により、現場を離れざるを得ない「人的資本の損失」。
- ・ **課題②**：建設業界特有の長時間労働（月平均80時間超）と残業規制への対応。

### 3. 解決の糸口：AIを活用した「現場経験のマネタイズ」

- ・ **現場経験 × AI**：「現場を離れても、彼女たちの豊富な経験を活かさないか？」という想いから、女性社員がキャリアを諦めないようにAIを使って女性の活躍の場をマネタイズできないか検討し、BPOサービス「カエレル」を始動。
- ・ **未経験者によるアルゴリズム開発**：育休後のキャリアに不安を抱えていた女性社員が、プログラミング未経験ながらAIとの会話だけで、3万枚の工事写真から重複写真を自動検出するアルゴリズムを開発し、生産性を10倍以上に向上させた。
- ・ **成果**：地方にいながりリモートワークで専門性の高い業務（写真管理、安全管理等）に従事し、高収入とリーダーとしてのキャリアを両立。BPOという働き方だったからこそ、できたこと。

### 4. BPO・DXによる業務の資産化

- ・ **小田島組におけるAI活用成功の鍵**：業務を棚卸しし、「プロセスを切っている」からAIで代替できる。現状のAIエージェントでは一連のプロセスは代替できない。
- ・ **AI活用によるイノベーションの連鎖**：重複写真検出から始まり、AIによる自動分類やタグ付け、さらには現場写真から不安全な行動・状態を自動抽出して「安全啓蒙資料」を自動生成するなど、社内で次々に現場課題に対するソリューションが生まれている。
- ・ **データの資産化**：BPOサービスを通じて蓄積された膨大なデータを構造化し、工事の標準化や人材育成に活用。

### 5. 最大の発見：「弱点を補う技術」としてのAI

- ・ **言語化できれば良い**：AIは「弱点を補う技術」として最も力を発揮し、うまく言語化してプロンプトさえ作れば、解決策を人間が考えなくて良い。
- ・ **ハンディの克服**：AIは「フルタイム勤務が難しい」「物理的に現場に出られない」といった地方や女性のハンディを乗り越えるための技術である。
- ・ **ノーコードの威力**：ノーコード/ローコードツールの活用により、専門人材を外部採用せずとも、社内人材が自ら業務改善ツールを開発可能になった。

### 6. 結論：東北の新たな成長モデル

- ・ **場所にとらわれない雇用**：AI+BPOのスキームは、東京一極集中を緩和し、地方での持続的な発展を支えるインフラとなる。
- ・ **経営者の視点**：AIは働ける場所、時間、そしてキャリアの限界を取り払う。このモデルを東北全体の持続的な発展に繋げていきたい。



## BPO導入企業による事例紹介

講演タイトル	建設業の地域間連携と外国人材の定着について
講演者	一般社団法人COCORO 大森啓正氏 (大森建設株式会社 専務取締役)

講演内容：

### 1. 秋田県山本地域の現状と「地域の人事部」の設立

- ・ **深刻な課題**：秋田県山本地域は急速な少子高齢化と労働力不足により、地域存続が危ぶまれている。有効求人倍率は県内でも高く、外国人材の受入数・雇用事業者数は全国最下位レベル。
- ・ **COCOROプロジェクト**：人材確保の選択肢として外国人材の採用を検討したが、1社でやるのは人的にも投資も厳しい。そこで、「地域の人事部」として経済産業省の採択を受け、地域企業でグループ化することで、産官学連携で外国人材の受入・定着を支援。単なる労働力確保ではなく、多文化共生を通じた地域活性化を目指す。

### 2. 共同購買・一括管理によるBPOの実現

- ・ **一括管理によるコストカット**：個社ではなく地域でまとめて動くことで、コストカットを実現。一企業で抱え込まなくて良い、地域で支えるから、企業が存続する。
- ・ **情報の共通化**：1社では判断が難しい外国人採用のノウハウを地域で共有。送り出し機関との提携や、複雑な登録支援業務を一括受託することで、小規模事業者の事務負担とコストを大幅に軽減。
- ・ **実績**：令和6年度、能代市における特定技能人材の雇用を38名創出。N3レベル（日本語能力）の人材を100名以上集客することに成功。

### 3. テクノロジーとコミュニティによる「定着」の仕組み

- ・ **NOSHIROclassの設立**：入国前から能代の特性（寒さ、人の温かさ等）を伝える教育プログラムを実施し、ミスマッチを防止。
- ・ **コミュニティ形成**：「World Café」や「English Night」など、地域住民と外国人が自然に繋がる場を月数回開催。孤独感を解消し、地域の一員としての意識を醸成。
- ・ **DXシステムの提供**：煩雑な書類作成をAIOCR（文字認識）等で自動化するシステムを開発・提供。管理工数を80%削減。

### 4. 東北アライアンス建設の事例：競争から「共創」へ

- ・ **広域連携の必要性**：震災復興需要の一巡と市場縮小に対応するため、東北6県の建設会社が手を取り合い、経営資源の最適化を図るプラットフォームを構築。
- ・ **各社のリソースを共有**：各社が持つノウハウや営業チャネル、長所が異なるが、それぞれ出資したことで腹を割って共有できている。
- ・ **災害対応とDX**：1社では不可能なDX投資や、災害時の広域支援体制の構築をアライアンスによって実現。近年、秋田県は4年連続で大雨災害に見舞われているが、インフラを支える建設会社が事業を止めてはいけない。東北アライアンス建設の仲間が駆けつけてくれる体制。

### 5. 経営者に求められる第一歩

- ・ **経営者のマインド変革**：「作業（ノンコア業務）」をBPOやAIに任せることで、社員がより「創造的な仕事」に従事できる環境を整えることが、持続可能な経営の鍵である。
- ・ **地域再設計の主役**：建設業界の魅力が次世代に継承するため、経営者自らが変化を恐れず、新たな一歩を踏み出すことが不可欠である。



## パネルディスカッション

タイトル	なぜ、今、BPOなのか？ デジタル社会とともに考える
パネラー	◎鹿島建設株式会社 関西支店 建築部 建築工事管理グループ課長 磯川郁弥氏（BPO導入企業） ◎株式会社小田島組 代表取締役 小田島直樹氏（BPO提供企業） ◎一般社団法人COCORO 大森啓正氏（BPO提供企業） ◎一般社団法人岩手県建設業協会 常務理事 村上純也氏 ◎株式会社岩手銀行 デジタル推進部 プランナー 藤澤耕太氏（金融機関） ◎株式会社エイジェックグループ 上席執行役員 北林亮氏（BPO提供企業） ◎株式会社みらいパートナーズ代表取締役 菊池正則氏（BPO提供企業） ◎東洋ワーク株式会社 取締役 副社長執行役員 星和浩氏（人材サービス業）
ファシリテーター	◎東北経産局情報政策・半導体戦略室長 井元尚充

講演内容：

### 1. BPO導入の際の「従業員の反応」について

- **鹿島建設 磯川氏**：反発はなかった。膨大なノンコア業務（宿舍管理や安全書類確認）をBPO化することで、社員が本来の「施工管理」に専念できる環境を作ること重要である。各現場が始まるまでにBPOの内容を固める。
- **小田島組 小田島氏**：当社は業界特化型のBPOであるため、全体の流れを把握しているという安心感を持っていた。現場管理をBPOすることが多く、現場の工期で契約が切れる、機動的なBPO。導入までに、ノンコア業務であることを理由に導入側の社員の反応が遅いことが唯一のネックポイント。
- **COCORO 大山氏**：外国人採用に対して批判的な方も一定数いたが、地元企業で構成するハブ（COCORO）が入ることで、採用してからのマッチングミスは少なく、肯定的な意見が多い。

### 2. BPOの心理的ハードル・葛藤

- **岩手銀行 藤澤氏**：地方では特に、多くの企業が「自分たちの仕事を外部に任せて大丈夫か」という不安や、初期コストに対する抵抗を感じている。
- **岩手県建設業協会 村上氏**：現状はBPOと言われてもピンとこないだろう。公共工事に携わる建設業は地域を守るために維持していくことが大事であり、そのために各社のどのような部分をBPOすることができるのか、をともに検討することが重要なのではないか。
- **東北経産局 井元**：施工管理にかかる部分はBPOしてはどうか、と思う。
- **エイジェック 北林氏**：今やれているから大丈夫、ではなく、10年先を見越してDX等に取り組む未来志向型の企業は、BPOも浸透しやすく、受け止められやすい。未来の仕事をイメージさせてあげることが肝要。
- **COCORO 大山氏**：COCOROの場合、地域一体で参加する動きがある中で、参加しないことで取り残されている感覚が促進力となっている。

### 3. BPO導入の際の課題とリードタイム

- **みらいパートナーズ 菊池氏**：属人化されている業務を行う従業員が壁となるケースも。トップが「プロジェクトマネジメントだから」と言って、意志決定することが重要。外注と同じで、BPOも自然な流れとなっている。
- **岩手県建設業協会 村上氏**：週休2日制により、建設業界の労務管理は過渡期。一部ではICT施工が始まっていたり、図面の3D化などの外注が多くなっているものの、ITやDXは浸透していない。
- **岩手銀行 藤澤氏**：デジタル化支援においては、ITツールの導入に4ヶ月から、長いと1年かかる。
- **エイジェック 北林氏**：BPOの場合、システムが入っている業務の運用支援は1か月程度のリードタイムで導入が可能。言語化されていない業務は、調査～運用で3か月程度のリードタイムで導入されることが多い。
- **みらいパートナーズ 菊池氏**：古いやり方を捨てないと、納期・リードタイムは短縮できない。
- **東洋ワーク 星氏**：企業の魅力向上を進めるにはデジタルが最も有用。デジタルを圧倒的に推進するのはBPOであり、人手不足の解決にもつながる。

## パネルディスカッション

タイトル	なぜ、今、BPOなのか？ デジタル社会とともに考える
パネラー	◎鹿島建設株式会社 関西支店 建築部 建築工事管理グループ課長 磯川郁弥氏（BPO導入企業） ◎株式会社小田島組 代表取締役 小田島直樹氏（BPO提供企業） ◎一般社団法人COCORO 大森啓正氏（BPO提供企業） ◎一般社団法人岩手県建設業協会 常務理事 村上純也氏 ◎株式会社岩手銀行 デジタル推進部 プランナー 藤澤耕太氏（金融機関） ◎株式会社エイジェックグループ 上席執行役員 北林亮氏（BPO提供企業） ◎株式会社みらいパートナーズ代表取締役 菊池正則氏（BPO提供企業） ◎東洋ワーク株式会社 取締役 副社長執行役員 星和浩氏（人材サービス業）
ファシリテーター	◎東北経産局情報政策・半導体戦略室長 井元尚充

講演内容：

#### 4. 経営者へのメッセージ：「BPOは時間を買う投資」

- 決断の重要性：** BPOは万能薬のようなものであり、従業員の心理的安全性の確保、業務促進やワークライフバランスの向上に寄与する。利益・売上を上げるための、時間を買う「投資」である。スポットで導入して長期では脆弱にならないように、経営者がノンコア業務をプロに任せる決断をし、自らは「地域の再設計」や「次世代の育成」といった創造的な仕事に向き合うことこそが、地域を守る建設業が生き残っていく鍵である。



「人手不足時代の企業成長にはBPOが必要不可欠!？」

株式会社船井総合研究所 金融機関アライアンス室 マネージング・ディレクター 宮本賢一氏

建設業の未来を拓く

BPO戦略シンポジウム

人手不足時代の企業成長にはBPOが必要不可欠!

近年は...  
人がいないので売上が  
成長できないという声  
AIツールの登場

⇒ 運転技術では  
勝負できなくなる  
価値感が変わる時  
どう経営を変えるか

見据えの必要性

1人あたりの生産性  
高めることが大事

今後採用コストは  
上がっていくおそれあり

採用コスト増加の中で  
BPOは経理で削減が  
削れた分を 大専  
社員に何をしてるか

企業成長させるため  
10年ロードマップで  
あるべき姿から考える

50億  
10億  
→ パフォーマンスで考える

成長できない企業  
AI 最適  
活用 配分  
追加で できて  
いない

BPOを考える基準

コスト/コト → 手段の → 企業  
切り分ける 選定 成長  
強み 見つけ どう 強化するか

成長投資モデルで考える

コア業務をのばし  
成長のための投資

新規営業で"大専"になるのは  
"タイミング" ← BPOに  
任せて!!!

ただDXを取り入れるだけはNG

属人化 ⇒ マニュアル化  
⇒ 例外だらけ ⇒ 例外の排除  
デジタル化不能 ⇒ DX基盤の完成

ウレシイ  
世代

1人がやる

ホゲモン  
世代

チームでやる

成功するビジネスの特徴

素直 + 勉強好き!!

取り入れられるものは  
取り入れる



株式会社船井総合研究所  
宮本 賢一 氏

「大規模現場におけるBPOを活用したリソース確保」

鹿島建設株式会社 関西支店 建築部 建築工事管理グループ課長 磯川郁弥氏

建設業の未来を拓く

BPO戦略シンポジウム

~事例紹介①~  
大規模工事におけるBPOの活用について

BPO導入の背景

労働時間 コレ業務 3つ  
規制 → 注力 → ユーティリティ

大規模工事では

事務 経理 安全

交通 宿の予約

多い時は4000/日の現場  
2~3人でまわせない  
→ ユーティリティ化

BPOの事例

現場から離れた宿舎?

送迎 ツラい 対応 補充 etc.

⇒ 今まで個別に契約?

BPOで窓口一本化

約5人の書類書込

ミスが減り  
業務に集中できる

現場敷地に  
食堂設置や弁当販売で  
食事環境を整える

元請社員用のサポート手配

契約 情報 備品  
収集 手配 排除

関係3社で  
役割分担する中で  
効率化+コスト減!

ドローン撮影

残業で  
社員が撮影 → 専門業社に  
外注

社員以外でも  
できる業務を積極的に  
アウトソーシングし  
残業を減らす

DXツール活用事例

DXツール×外部人材  
→ ICTツールの知識深める

顔認証 入場用QR

大事なのは、自分たちの  
したいことの明確化



鹿島建設株式会社  
石幾川 郁弥 氏

「BPOサービス提供をフックに働き方改革」  
株式会社小田島組 代表取締役 小田島直樹氏

### 建設業の未来を拓く BPO戦略シンポジウム

～事例紹介②～  
BPOサービス提供をフックに働き方改革

**BPO提供側は AIと未来を語る**

女性 建設現場  
どうしても  
両立難しい時  
あった

女性が活躍するため  
AIで現場経験を活かす

3万枚 現場写真  
AIが同一写真  
自動検出

↑プログラミング未経験の  
女性社員が  
アルゴリズムを開発

**BPO そのものは、  
年收の差  
と 異なる訳ではない**

現場データが  
資産(価値)に  
成功パターンがわかり、  
品質や検体が蓄積

AIは弱点を  
補うツール

正しい言語化  
AI 解決策  
大事なのは正しく  
選択すること

**AIの資格持ちは  
ベースアップを明言**

→社員全体で50%取得  
士地方のハンディを  
AIがのりかえる

育児プログラム  
勤務しない → 短時間で  
高い成果

現場に出ない → リモートで  
現場支援

専門人材  
雇えない → AIが開発

**東北の新たな成長モデル**


AI + BPO  
スキーム

専門性が  
場所に  
しぼれない  
働き方

→ 東北  
全体の  
持続的  
発展

**AIがもたらした  
3つの変化**

- 若い女性が  
キャリアを伸ばす高収入
- 会社全体のDXを  
強化するエンジンに
- 地方のハンディ強みに  
新たな雇用と成長を



株式会社小田島組  
小田島 直樹氏

「建設業の地域間連携と外国人材の定着について」  
一般社団法人COCORO 大森啓正氏  
(大森建設株式会社 専務取締役)

### 建設業の未来を拓く BPO戦略シンポジウム

～事例紹介③～  
建設業の地域間連携と外国人材の定着について

人がいなくて...  
スーパー インフラ  
きたために...

能代市の現状  
有効求人倍率  
約2.6倍

外国人材の活用  
しかし 制度がかりにくい  
定着しにくい という声  
解決に向け  
→ COCORO 設立へ

**NOSHIRO クラス  
(COCOROクラス)**

業職ドクラスで  
分けて人材育成

運が偶然に  
左右されない  
雇用を維持

雇って終わりにしない!  
大森の生活環境  
COCOROの取り組み

相談会・セミナー  
地域イベント

外国人を  
孤立させない  
→このまま続けたい!!

**外国人材を定着させる要因**

管理の複雑さ...  
↑  
BPOで  
一元管理できる

**COCOROの事例**  
World Cafeの施設  
教育現場とつなぐ


相互理解へ

**COCOROの強み**  
海外パートナー  
地域企業 行政  
みんなが  
シェアして課題解決

**東北でライオンス建設**

東北6県には建設会社が  
出資した建設会社

- ノウハウ・情報の共有
- DX化推進による効率化
- 災害時の地域連携  
必要な時は  
共有し合う  
(人手や重機など)



一般社団法人COCORO  
大森建設株式会社  
大森 啓正氏

パネルディスカッション「なぜ、今、BPOなのか？ デジタル社会とともに考える」

建設業の未来を拓く  
BPO戦略シンポジウム  
パネルディスカッション

BPO導入時の社内の様子

仕事が楽になるの？  
反対は否めた

全てのプロセスを  
可視化することで  
BPO受注先との  
トラブルを減らした

送る側 受け取る側

外国人導入は  
最初不安の声 →  
丁寧にやりとりして  
松城

BPOへの期待

人材派遣業も人手不足！  
労働力の有効活用を期待！

個社が進めるBPOの課題

岩手県内  
デジタルリテラシー高くない

従業員が  
やる気を出さないと...

→ 意識の成熟を高めたい

建設業界全体の約30%  
60歳以上 BPO?

おそろく BPO ピンと来ない...

担当者レベルが  
未来イメージできていかないと  
反応が生じる

先見据え  
社長の意思決定

70歳外  
でサポートできる  
ことを説明する

リードタイムと課題

引継ぎ  
スムーズ

発注側 BPO事業者  
いかにやる内容を揃え  
相手に共有できるか

外注先のイメージが  
出来ていないかも 大事!!

建設業が2週休2日制で  
労務管理が大変

一部ICT施工が始まっているものの  
ICTやDXは普及してない

デジタル化の誘導はなかなか  
(Cocoro)

多いときは  
50程度訪問  
→ 地域においでいただく心配から  
参加にいたした可能性も?

デジタル化の速度

個社: 4ヶ月~1年以上  
BPO: 相見積り等の前処理に  
ついては同じ速度  
あとは実務速度で変わる

ある業務70% ない  
1ヶ月 3ヶ月

課題は言語化

雇人化対策  
Googleに  
デジタル化  
仕事は短期利益出る  
仕事の定着にデジタル化は  
不可欠  
→ その解決策としてのBPO

BPO どう始める?

ワークライフバランス

万能薬

安全性 利益

お家に居るよりは  
ストレスが少なくて  
→ 精神安定剤として

E4はE4屋...

フリー  
1日1日の  
恩返し

長期的目線  
地域を守る会社を  
選んで  
下...

信が分る言  
あけけ  
聞く?



星 和浩氏



菊池正則氏



北林 亮氏



村上 純也氏



藤澤 耕太氏



大森 啓正氏



小田島 直樹氏



磯川 健次氏



井元 尚亮氏